

診療報酬改定と併せて見直そう！

看護師のための 口腔ケアの 最新情報



〔執筆〕村松真澄 むらまつ・ますみ

旭川市立大学 保健福祉学部 保健看護学科 教授

日本口腔ケア学会指導者認定、日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士

1981年3月北海道大学医学部附属看護学校卒業。北海道大学医学部附属病院（現・北海道大学病院）看護部、愛全病院看護部、北海道大学病院看護部等を経て、2007年より札幌市立大学看護学部専任講師。2012年より同大学准教授。同大学専門研究員を経て、2025年10月より現職。日本老年看護学会代議員・老年看護政策検討委員、日本摂食嚥下リハビリテーション学会評議員、日本口腔ケア学会評議員等。研究テーマは、一貫して口腔の健康に関すること、高齢者が幸せに暮らせること。AIを活用した看護等の研究にも取り組んでいる。

前回（2024年度）の診療報酬改定では「口腔連携強化加算」が新しく加わり、看護職が口腔ケアにかかわっていくことの重要度や期待はこれまでになく高まっています。本特集では、なぜいま口腔ケアが重要なのか、という基礎の部分から、さまざまな現場で働く看護師がどのように口腔ケアにかかわっていくことができるかをおさらいしていきます！さらに、2026年度の診療報酬改定で新設された「リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算2」についても、急性期・ICUを軸として解説します。

CONTENTS

Part 1

なぜ、口腔ケアは必要なのか？

—歯周病とう蝕から考える— 12

Part 2

口腔連携強化加算と看護師の業務

在宅でのケアを視野に入れた対応 15

Part 3

急性期・ICUにおける口腔ケアと、リハビリテーション・

栄養・口腔連携体制加算2に果たす看護師の役割 22